

## 平成 28 年度京都府公立高等学校入学者選抜中期選抜のための学力検査の出題について

(その1)

### <出題方針>

中学校学習指導要領の趣旨に沿って、各教科とも中学校で学習する基礎的・基本的な内容に重点を置くとともに、知識・技能等を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等が的確に把握できる出題とする。出題範囲は、中学校学習指導要領に基づくものとする。

### <特徴>

基礎・基本の定着、論理的思考力や判断力・表現力をみる

中学校で学習する基礎的・基本的な内容の定着をみるとともに、語句、表現及び図示などの記述式解答を求める問題も設け、生徒が身に付けた様々な知識・技能等を活用して比較・分析し、総合的に考え、判断・解決できるかどうかをみた。

### <各教科の特色と傾向>

#### 【国 語】

- 1 古文では、近世の文章を題材とし、内容を読み取る力をみるとともに、歴史的仮名遣いなどについて問い、古典を理解する基礎が身に付いているかどうかをみた。また、古典に親しむ態度の育成を重視した出題となるように留意した。

〔出典〕 「<sup>みみぶくろ</sup>耳囊」(『耳囊』岩波文庫より)

江戸時代中期から後期にかけて書かれた随筆。作者は<sup>ねがしやすもり</sup>根岸鎮衛。

問題文は、鎌倉時代の歌人である藤原為家にまつわる逸話をもとに、懸命に物事に取り組むことの大切さを述べた文章である。問題文の内容を読み取ることで、古典に表れたものの見方や考え方に触れ、古典への興味・関心を深めることに期待する。

- 2 現代文では、言い換えや論理展開に注意しながら筆者の主張を理解する力をみるとともに、言葉のきまりに関する事項、漢字に関する事項についての理解をみた。また、「話すこと・聞くこと」及び「書くこと」の内容に関連する問題を設けた。なお、思考力・判断力・表現力等を重視した出題となるように留意した。また、書写に関する問題も設けた。

〔出典〕 「<sup>ちのたのしみ</sup>知のたのしみ <sup>学のよこび</sup>学のよこび」 <sup>まつだあつし</sup>松田素二 (岩波書店)

問題文は、異文化理解のためのフィールドワークという研究方法について、また、文化の多様なあり方について書かれた文章である。問題文の内容を的確に読み取ることで、文化や社会について考え国際理解を深めたり、学びに向かう力を身に付けたりする契機となることに期待する。

#### 【社 会】

- 1 基礎的・基本的な内容についての理解をみるとともに、論理的に思考する力、公正に判断する力及び適切に表現する力が身に付いているかどうかをみた。また、多面的・多角的に考察する力をみるため、大問すべてにおいて地理的分野・歴史的分野・公民的分野の内容を関連付けた融合問題とした。
- 2 資料から読み取ったことを適切に表現する力をみるため、短い文で記述する問題を設けた。また、資料を比較して地域の変容を読み取る力をみる問題や、各時代の特色を踏まえて歴史の大きな流れを理解しているかどうかをみる問題を設けた。さらに、社会生活における物事の決定の仕方や、日本の文化への興味・関心を高める出題となるように留意した。

#### 【数 学】

- 1 数量や図形などに関する基礎的・基本的な知識及び技能を習得できているかどうかをみるとともに、それらを活用して様々な事象を数理的にとらえ、見通しをもって論理的に考察する力をみた。
- 2 関数と図形を関連付けた問題や、各学年の学習内容を関連付けた問題を設け、異なった領域や中学校の3年間の学習内容を総合的に活用する力をみた。また、資料の活用の領域において、数え上げの際に工夫を要する問題を設け、数学的な思考力・判断力・表現力をみた。

# 平成 28 年度京都府公立高等学校入学者選抜中期選抜のための学力検査の出題について

(その2)

## <出題方針>

中学校学習指導要領の趣旨に沿って、各教科とも中学校で学習する基礎的・基本的な内容に重点を置くとともに、知識・技能等を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等が的確に把握できる出題とする。出題範囲は、中学校学習指導要領に基づくものとする。

## <特徴>

基礎・基本の定着、論理的思考力や判断力・表現力をみる

中学校で学習する基礎的・基本的な内容の定着をみるとともに、語句、表現及び図示などの記述式解答を求める問題も設け、生徒が身に付けた様々な知識・技能等を活用して比較・分析し、総合的に考え、判断・解決できるかどうかをみた。

## <各教科の特色と傾向>

### 【理 科】

- 1 自然の事物・現象について、基礎的・基本的な知識・技能を身に付けているかどうかをみた。また、観察や実験で得られた事実を客観的にとらえ、科学的な知識や概念を用いて合理的に判断する力を身に付けているかどうかをみた。
- 2 身近な事物・現象に関する探究的な活動を題材とした問題では、観察・実験の結果を、基本的な概念や原理・法則を踏まえて発展的に活用する出題となるよう工夫した。また、中学校の3年間の学習内容を関連付けた設問を通して、多面的・総合的な見方を身に付けているかどうかをみた。

### 【英 語】

- 1 英語でのコミュニケーション能力の基礎となる知識・技能を習得しているかどうかをみるとともに、それらを活用して思考・判断・表現する力が身に付いているかどうかをみた。また、4技能(「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」、「書くこと」)を統合的に活用する力をみる出題となるように留意した。
- 2 読解問題は、スタイルの異なる2つの文章から出題した。アフリカに住む少女の暮らしに関する英文では、語句や文、文法などに関する総合的な知識が身に付いているかどうかをみるとともに、内容を正しく読み取る力や理解した内容を英語で表現する力もみた。また、ペットに関するアンケート結果を題材とした会話文では、必要な情報を整理して、思考・判断する力をみる設問となるように工夫した。
- 3 リスニング問題では、会話を聞いて必要な情報を理解し、質問に対する適切な応答を考える力が身に付いているかどうかをみた。また、まとまった内容をもつ会話を聞いて要点をとらえる力をみるとともに、会話の内容を正しく理解して適切に応じることができるかどうかをみた。